

株式会社モビリティランド

贈呈理由

ヒートポンプによる温泉の排湯熱の有効利用により、
大幅な省エネルギーを実現

商業施設
飲食店舗



ヒートポンプ給湯



排熱



温泉施設



露天風呂



排熱回収型ヒートポンプ

レーシング事業に加え 新たなレジャー事業を開発

株式会社モビリティランドが経営する鈴鹿サーキットは、1962年に国内で初めて本格的なレーシングコースとして誕生した施設であり、F1日本グランプリをはじめ、年間を通して数多くのビックイベントが開催されている。

レース以外にも、ホテル・レストラン部門の充実を図り、滞在型リゾート施設として充実した環境とサービスを提供。新たなレジャー事業を意欲的に開

発している。

また、F1レースなどCO₂を排出するイベントがある一方で、環境に良い取り組みをしたいという思いから、積極的に省エネルギー・省CO₂に取り組んでいる。

温泉排熱に着目し、 エネルギーを有効活用

こうした中、施設内にある温泉の排湯(35℃前後)を有効活用するための検討をはじめた。

まずは現状を実量的に把握し、さまざま

なシステムを検討した結果、省エネルギー性が高く、課題だった温泉排熱を有効活用できる水熱源ヒートポンプを採用することにした。

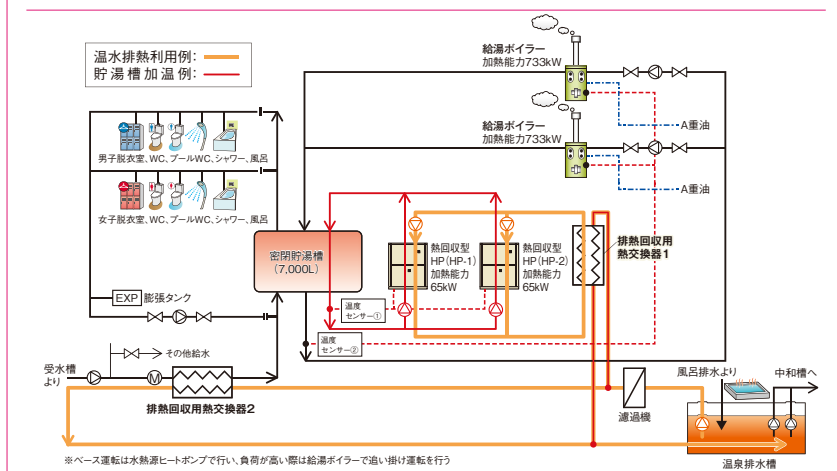
この改修により、既設ボイラと併用したハイブリッド給湯システムを新たに構築。給湯用重油は約90%の省エネルギー、CO₂も年間138tCO₂/t削減できた。

また、レストランにおいては業務用エコキュートを採用し、93%の大きな省エネルギー効果に寄与した。

今回のシステム導入により、A重油の使用量を従来の約半分程度まで削減できた他、CO₂排出量も国からの削減目標を毎年クリアしている。

ヒートポンプシステムの導入に手応えを感じている同社は、今後も運用実績を積み重ねながら、さらなる省エネルギー、省CO₂を目指す。

システム図



鈴鹿サーキット

所在地: 三重県鈴鹿市稲生町7992
竣工: 2016年新設

蓄熱設備概要

業務用エコキュート 56kW×2台 [三菱電機]
排熱回収型ヒートポンプ 65kW×2台 [三菱電機]